

## がん看護コース

研修目的	1. がんの理解に必要な基礎知識を豊かにし、自己のがん看護実践に活用することができる			
到達目標	1. がん医療の動向を知り、がん患者、家族への理解を深める 2. がん化学療法、放射線治療の特性と必要な看護が理解できる 3. 緩和ケアの基礎が理解できる 4. 1～3の学びをもとに、ケースレポートを通じて、今後の看護実践に活用できる			
開催日時 研修時間	・第1回：7月9日(土)8：30～17：30 ・第2回：10月12日(水)17：45～19：15			
受講対象	・ラダークリニカルレベルⅡ以上の者  【定員 20名程度】			
開催日 開催場所	ねらい	内容	講師	前年度 相当回
第1回 7月9日 (土) 臨床研修センター	がん医療の動向が理解できる(30分)	・研修ガイダンス(研修の意図、個人の課題の明確化) ・がんの動向 ・がんとは何か ・サバイバーについて ・治療の柱	がん化学療法 看護 CN 土屋 文 鈴木 綾子  地域連携看護科 村松 篤子  がん性疼痛 看護 CN 安江 佳美	なし
	がん化学療法時の看護が理解できる(90分)	・がん化学療法の基礎知識 ・がん化学療法を受ける患者の看護		
	放射線治療時の看護理解できる(90分)	・放射線について ・放射線治療とは ・放射線治療の目的と流れ ・放射線治療を受ける患者の看護		
	休憩(60分)			
	症状マネジメント・がん患者の終末期の看護が理解できる(120分)	・早期からの緩和ケアの理解 ・症状マネジメントの理解 ・チームアプローチ ・看取りの看護 ・終末期の特徴と、その人らしさを支える援助 ・家族、遺族ケア		
患者、家族の心のがんが与える影響の理解と、がん患者の在宅支援の理解ができる(90分)	・サイコオンコロジーについて ・危機理論の概要について(事例を通して考える) ・がん患者の在宅支援について			
第2回 10月12日 臨床研修センター	研修を通しての振り返りと、今後の自己課題が明確にできる(90分)	・ベーシックコース全体の振り返りをグループワークで実施し、初回の課題と照らし合わせ、受講者各自が明日からできることを抽出する	コース担当者 全員	第7回
コース担当者	13B病棟看護科：安江 佳美(内線：5300 PHS：8553)			
備考	・確認テストを実施することがあります ・第1回の講義内容を踏まえて、ケースレポートの提出があります			